

乎乃利也

〔倭訓栞前編六〕がはな 倭名抄に水苔をよめり、川菜の義なるべし、祝詞式にもまか書り、芹の名とす、古今集のかはなぐさも、是をいふなるべし、殿にも此藻をかき、或は彫は、火を防ぐ也。

〔天和本草水草〕河蕒スモウ 一處々小流ニアリ、海蕒モクニ似テ其色青ク、糸ヲツカチタルガ如クニシテウル

ハシ、羹トシ、或ハ酢ニテ食ス味ヨシ、但小瘡ヲ發シ身ヲ痒カラシム、病人及有瘡人食スベカラズ、

北ニ向テ流ル、小河ニアリ、他方ニ向テ流ル、下川ニハナシト云、漢名未詳、凡水苔ノ類ノ中ニ蛭

蠶ナド毒虫ノ子アリ、食之則吐血而死ス、ヨク擇ブベシ、妄ニ食ラベカラズ、

〔重修本草綱目啓蒙水草〕水藻 カハモ イツモハハナ古歌 方ハナグザ 同上 一名惡藻典籍便覽

雲蘿 同上 鳥藻 同上 聚藻一名蘊藻坤雅 馬藻一名柳葉菹本草 菹草 同上 一名惡藻典籍便覽

水藻ハ水中ニ生ズル藻類ノ總名ナリ、集解兩種ニ分ツ、其一ハ聚藻フザモ、江州キンギヨモ、三ビ

ノス紀州ノボリ、但州クジヤクモ、勢州ズンモ、土州 流水底ニ生ジ、水ニ隨テ靡キ流ル、コト長ク、

數尺ニ至ル、葉ハ至テ細ク絲ノ如シ、節ゴトニ多聚リテ、蓬子菜カララフノ如シ、二月白花ヲ開ク、五瓣黃葉、

大サ三四分、水上ニ出テ開ク、其一ハ馬藻、ヤナギモ、サ、モ、溝瀆流水中ニ多シ、此モ水底ヨリ生ジ

テ、水ニ隨ヒ靡キ流ル、コト數尺、葉ハ長サ二三寸、濶サ一二分、兩對シテ生ズ、又一種互生スル者

アリ、

〔延喜式神祇〕鎮火祭

神伊佐奈伎、伊佐奈美乃命、妹背二柱略、吾名妹能命、波、上津國乎所知食、倍志、吾波下津國乎所知

止、牟申氏、石隱給氏、與美津枚坂爾至坐氏、所思食、久、吾名妹命能所知食、上津國爾、心惡子乎生置氏來

止、奴宣氏、返座氏、更生子水神、匏、川菜、埴山、姬四種物乎生給氏、此能心惡子乃心荒比留水神、匏、埴山、姬

川菜乎持氏、鎮奉止事教悟給支、